

光機能材料研究会第 71 回講演会

「データサイエンス・マテリアルズ・インフォマティクス・人工知能の進展と機能材料創製」  
日時：2018 年 10 月 4 日（木）13 時～17 時 10 分（受付 12 時 40 分）

◆場所：東京理科大学森戸会館 地図：<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2（JR線「飯田橋」駅西口、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線「飯田橋」駅）

◆参加費：非会員5,000円（当日現金払い）、会員（法人会員3名まで、個人会員本人様）無料、  
学生無料（予稿集別途） ◆予稿集：受付にて配布

◆申込先：光機能材料研究会事務局 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 <http://pfma.jp/>  
東京理科大学光触媒国際研究センター内 FAX：04-7122-1742

◆プログラム（講演概要）

13:00 開会にあたって 光機能材料研究会会長 藤嶋 昭

1、13:05-13:50 データサイエンスの現在とこれからー統計的因果推論の視点から

横浜市立大学 岩崎 学氏

2018 年 4 月、横浜市立大学データサイエンス学部がスタートした。データサイエンスへの期待は大きい  
が、それが今後、特に理工学の分野で真価を発揮するためには、統計的因果推論の考え方及び具体的な  
方法論が必要不可欠である点を議論する。

2、13:50-14:35 マテリアルズインフォマティクスによる 2 次電池・太陽電池材料開発

NIMS 高橋啓介氏

本講演では、急速に注目されているマテリアルズインフォマティクスの概要・現状とマテリアルズイン  
フォマティクスによる 2 次元磁石材料探索と太陽電池材料探索を実例として紹介をする。

3、14:45-15:30 触媒インフォマティクスの現状

北海道大学 清水研一氏

理論・実験材料科学とデータ科学の融合領域（材料インフォマティクス）が注目されているが、触媒作  
用（複合化学的現象）への展開は萌芽の段階にある。講演では、触媒化学とデータ科学の境界領域に関  
する文献と我々の取り組みを例に本分野の現状を紹介する。

4、15:30-16:15 マテリアルズインフォマティクスによる企業における材料開発

旭化成 内 幸彦氏

企業における材料開発では、既存製品のグレード開発のように予め原材料の選択範囲が決まっている場  
合、プロセス条件も同時に検討する場合、一方で新規の添加剤の探索等幅広くマテリアルズインフォマ  
ティクスを適用するケースが少なからずある。これらの現状と今後の展望について紹介する。

（お知らせ：本講演には予稿はございません）

5、16:20-17:05 人工知能による材料開発の可能性

東京大学 松尾 豊氏

本講演では、人工知能の最新動向、特にディープラーニングを取り巻く状況について述べる。ディープ  
ラーニングの仕組みや人工知能における意義を解説し、さらに今後、どのように人工知能の技術が発展  
するか、また、人工知能の発展が産業や社会に与える影響やその可能性について解説する。

（お知らせ：本講演には予稿はございません）

17:05 閉会にあたって

「参加申込書」（準備の都合上、10/1（月）までにお申し込みください。定員になり次第締め切り。当日受付不可）

資格	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 非会員	<input type="checkbox"/> 学生（無料：予稿集別途 1,000 円 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要）
社名			
所属			
氏名（ふりがな）			
住所	〒		
FAX		TEL	
e-mail			

◆受付確認のご返信はいたしませんのでご了承ください。直接会場にお越しいただければ幸いです。

◆10 月 2 日以降のキャンセルは予稿集作成費が当会の持ち出しとなりますので、ご遠慮ください（代理出席可）。

◆申込先：FAX：04-7122-1742